



森林環境譲与税の今後の使途計画は

山中 博子

町長 令和3年度から2か年計画で、平成31年1月の大野山林火災地に針葉樹や広葉樹の植林を予定



問 令和元年度の森林環境譲与税の使途は公表したのか。
答 ホームページで公表した。
問 令和2年3月の補正予算では森林環境譲与税は全額基金に積立てるとして

たが、9月決算では約3分の2が不用額となっている。不用額分がなぜ、ホームページで執行実績として公表されているのか。
答 森林環境譲与税を基金に入れず、直接事業に充てた。その分の基金積立額の

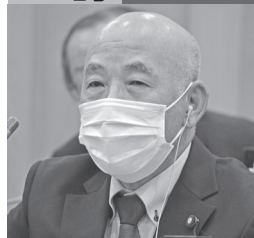
減額補正を失念したので不用額が出てしまった。事業は執行しているのでホームページに公表している。
問 秩父地域では1市4町が「集約化推進室」を設置し、連携しながら森林整備等を実施することだが、

当町において近隣自治体との連携は。
答 寄居林業事務所管内でそのような話はあるが、具体化には至っていない。
問 今後の森林環境譲与税の使途計画は。
答 令和元年度から令和13年度までの予定で、意向調査を実施し現地調査を行う。また、令和3年度から2か年計画で、平成31年1月の大野山林火災地に針葉樹や広葉樹の植林を予定している。

明覚駅に歩道橋を作り明覚駅周辺を活性化させてはどうか

長島 金作

町長 駅周辺が賑わい活性化が図られた時に検討する



問 無人駅となった明覚駅の借入案、ときがわ町に観光等のメリットがあり良いと思うが、改札口のない南側の住民にとっては、誠に不便な状況である。将来駅前にスーパーマーケットや商店等出来た場合歩道橋が

あれば更に賑わう。番匠や仲井地区は空き地が多く将来有望である。長い目で見れば得策と思うが町の考えを伺う。
答 南口の整備の中でJR東日本と協議したがランニングコストに多額の費用が

掛かるので現状では大変難しい。明覚駅周辺の活性化は今後の町にとっても重要な施策である。来年度から駅の一部をときがわ町観光協会の事務所とすることに、明覚駅を拠点とした観光案内やさまざまな観光

への取り組みを展開していくことで無人駅であった明覚駅周辺が賑わいを取り戻すことに期待しているところである。明覚駅周辺から賑わいが始まり、町の活性化が図られた時に改めて歩道橋の設置について検討したいと考える。



来年度予算案について — 予算編成方針は —

神 山 俊

町長 総合振興計画に定める計画事業の着実な推進を図る



問 来年度予算編成方針は。
答 特に人口減少対策として生産年齢人口等転入・定住を促進させるための「若者の流出防止・移住・定住化促進に係る施策」、観光施策を推進・活性化することで地域の魅力を再発信す

る「まちの活力を高める施策」、災害に対する予防・対策強化、併せて感染症対策の強化も進めていく「暮らしを守る施策」、これら3つの施策は重点施策として掲げた。
問 新型コロナウイルスの

対策（追加）は。
答 今後重要になるのは、ワクチン接種体制に関する予算計上である。過日、厚生労働省からワクチン供給時に備え、速やかに予算措置と体制の確保ができるよう、準備を進めておく旨の

通知が来た。消毒薬やマスク等の備蓄資材については既に予定した量を確保している。
問 防災井戸の整備を — 飲料水、生活用水の確保を —
答 現在、新たに防災井戸を整備する予定はない。しかし、住民所有の井戸水を非常時において分け合う「共助」の仕組みとして、家庭井戸の活用方法についての可能性を研究していく。

町民の「心の健康」を守る町の取り組みは

小島 利枝

町長 情報提供や相談窓口の周知を行っていく



問 心の健康を保つために必要なことは。
答 休養と睡眠そして癒しの時間を持つこと。また不安や悩みを一人で抱え込まず誰かに相談すること。
問 新しい生活様式を取り入れた「こころのABC活

動」の見直しは。
答 検討中。
問 相談窓口は。
答 専門相談窓口について情報提供や保健師による相談を受け付けている。
問 相談窓口情報をツイッターや防災情報等メール配

信サービスで発信しては。
答 検討していく。
問 子宮頸がんワクチンの情報提供について
答 国は2013年6月に自治体による積極的勧奨の差し控えを行い、現在も状

況は変わらないが、定期接種の対象、つまり自己負担なしの接種である。メリット、デメリットを正しく理解し、対象者が希望する、しないの選択ができるよう最新の情報を提供すべきと考えるが。
問 ホームページに最新のリーフレットで周知する。過日、国から示された「対象者への周知に関する対応について」に基づき、個別啓発も実施していく。

